

---

---

### 編集後記

今冬も厳しい寒さが続いております。本号もお手元に届くのは春の陽光がまぶしくなった頃かと思います。

月日のたつのは早いもので、執筆者の御協力により技報も第5号となり、この間順調に、阪神高速道路の発展と共に歩んでおります。これまでの技報には多くの新しい長大構造が発表され、また光ファイバー、PCC床版、路側通信システム、ノージョイント化、速度管理システム等の世界をリードする新材料、新工法の開発も掲載されております。一方、金属衝撃音、床版損傷、PC脚のひびわれ、鋼橋の亀裂、アルカリ骨材反応等の新しい問題を我々に投げかけており、これら技報が技術の変遷、将来の動向を示す指標となることを願ってやみません。

先端技術を駆使した視聴覚機器の普及により、人々の活字離れが進んでいると言われていますが、編集会議では、技報を読み易い形へと、幹事一同、毎号の反省を行い少しずつ改良を加えております。第5号より論文のはじめに「要約」欄をつけることになりました。概要の把握に役立てば幸いです。

最後に御多忙中にもかかわらず御協力をいただきました今井審議役、多大な時間と労力をさいていただいた論文執筆者の方々、グラビア写真を提供していただいた方々に心から感謝するとともに、皆様の第6号へのご協力をお願いする次第です。

編集幹事一同

---

---